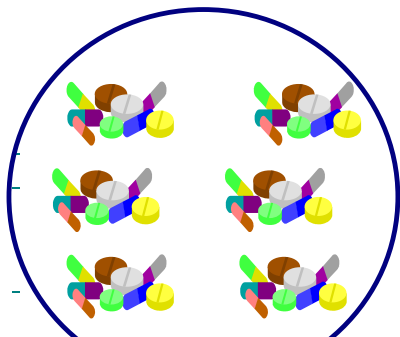


代替性のないリサーチツール 特許の問題点

1. ゲノム創薬とリサーチツール

リサーチツールとは、それ自体は最終製品(医薬)にはならず、最終製品を選択するための道具として使用されるもの(例、遺伝子、スクリーニング方法)



無数の化合物を合成

公知のリサーチツールは特許フリー

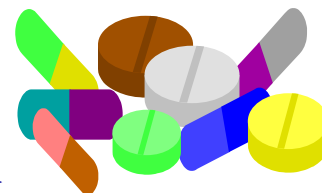
従来の創薬

リサーチツール

例: **公知**の疾患関連遺伝子

リサーチツールへの特許
使用料支払いは不要

多数のリサーチツールを使用してスクリーニング



医薬

画期的な新薬開発

新たな創薬
ターゲットの発掘
(遺伝子機能解析)

ゲノム創薬

リサーチツール

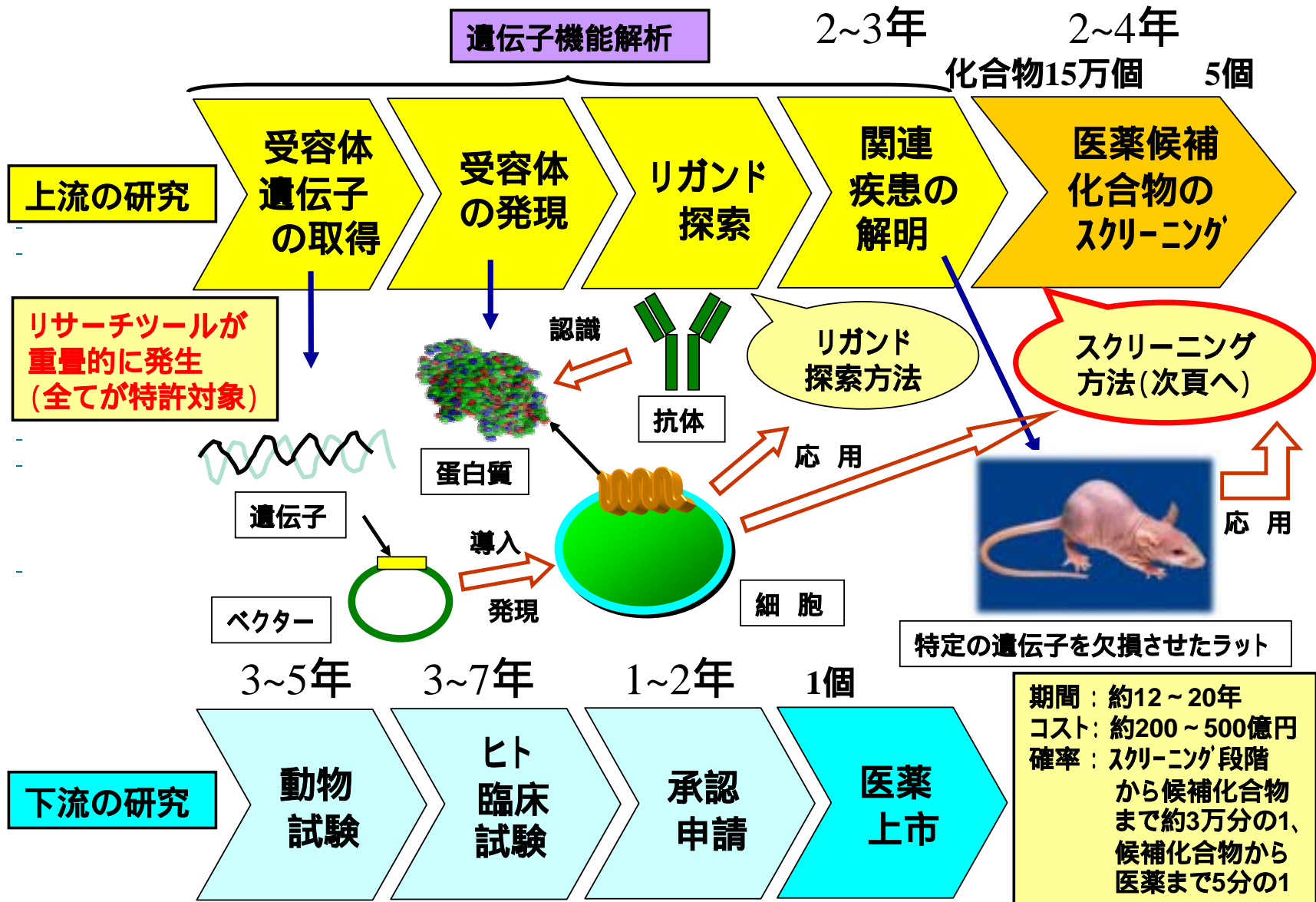
例: **新規**な疾患関連遺伝子

ゲノム創薬

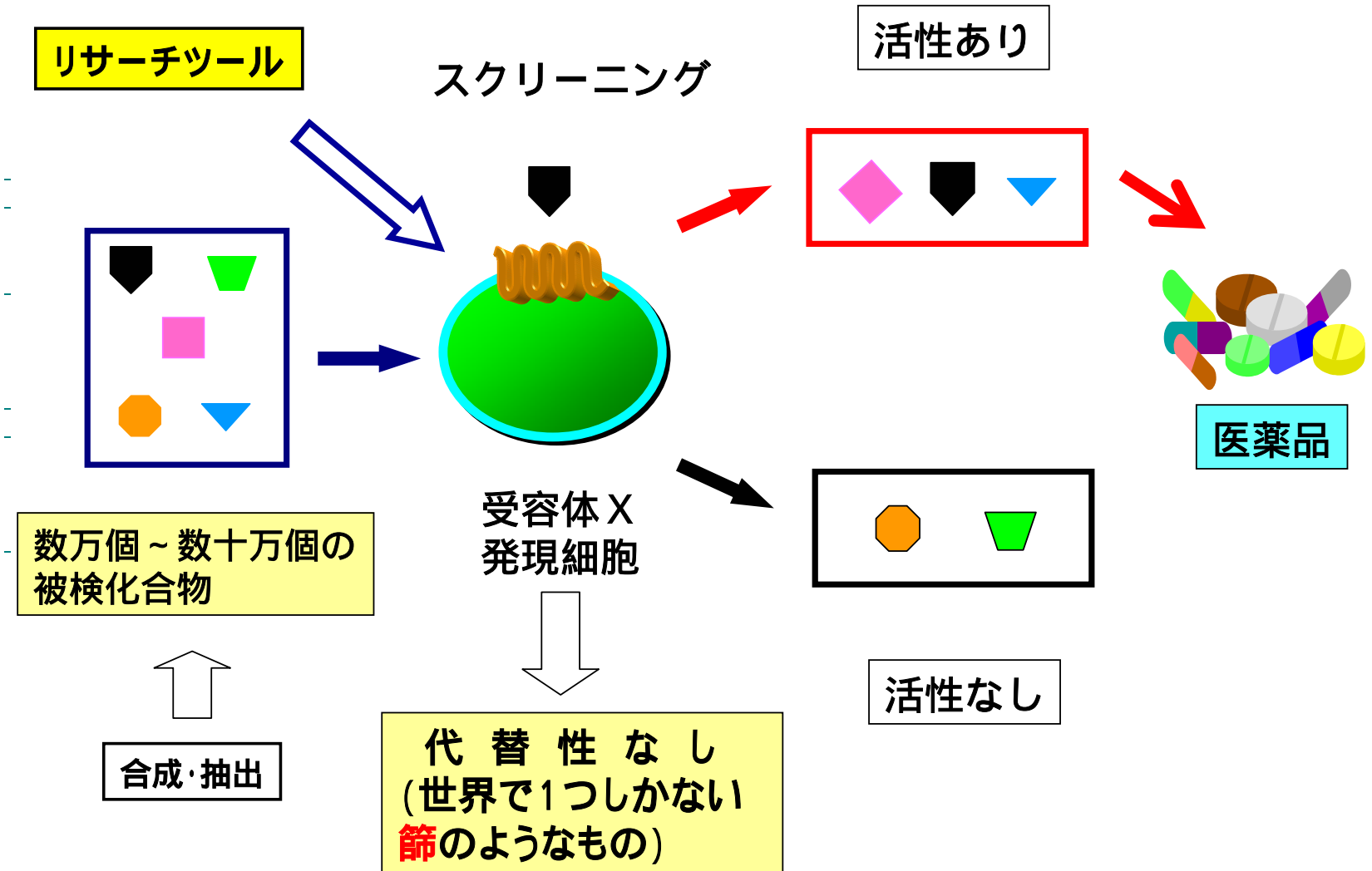
多数のリサーチツール特許が発生

それぞれのリサーチツール
への特許使用料支払いが
要求される!


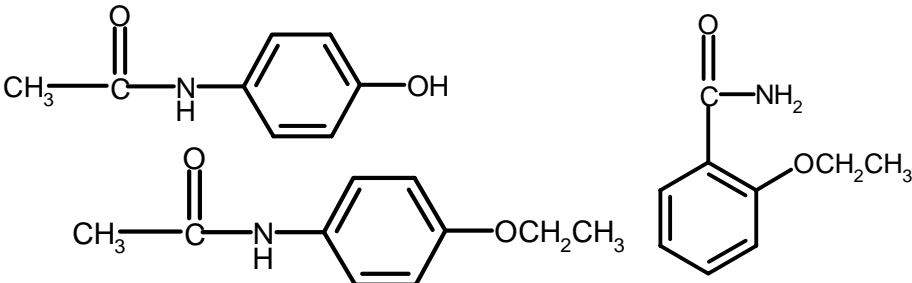
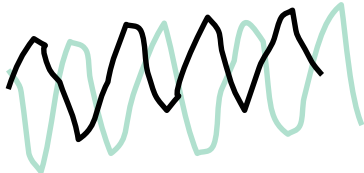
2. 医薬開発スキームとリサーチツール



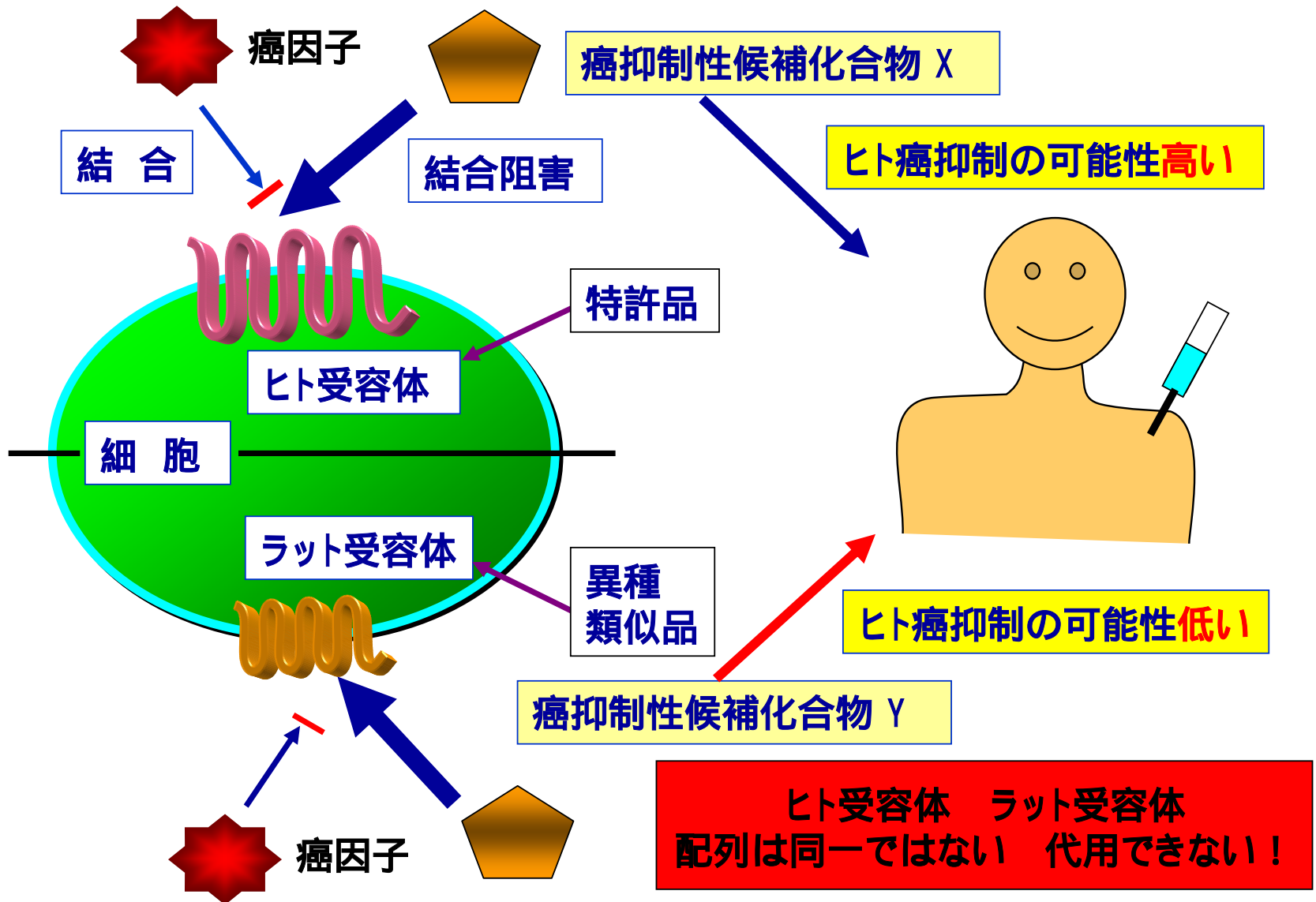
3. 医薬候補化合物のスクリーニング方法



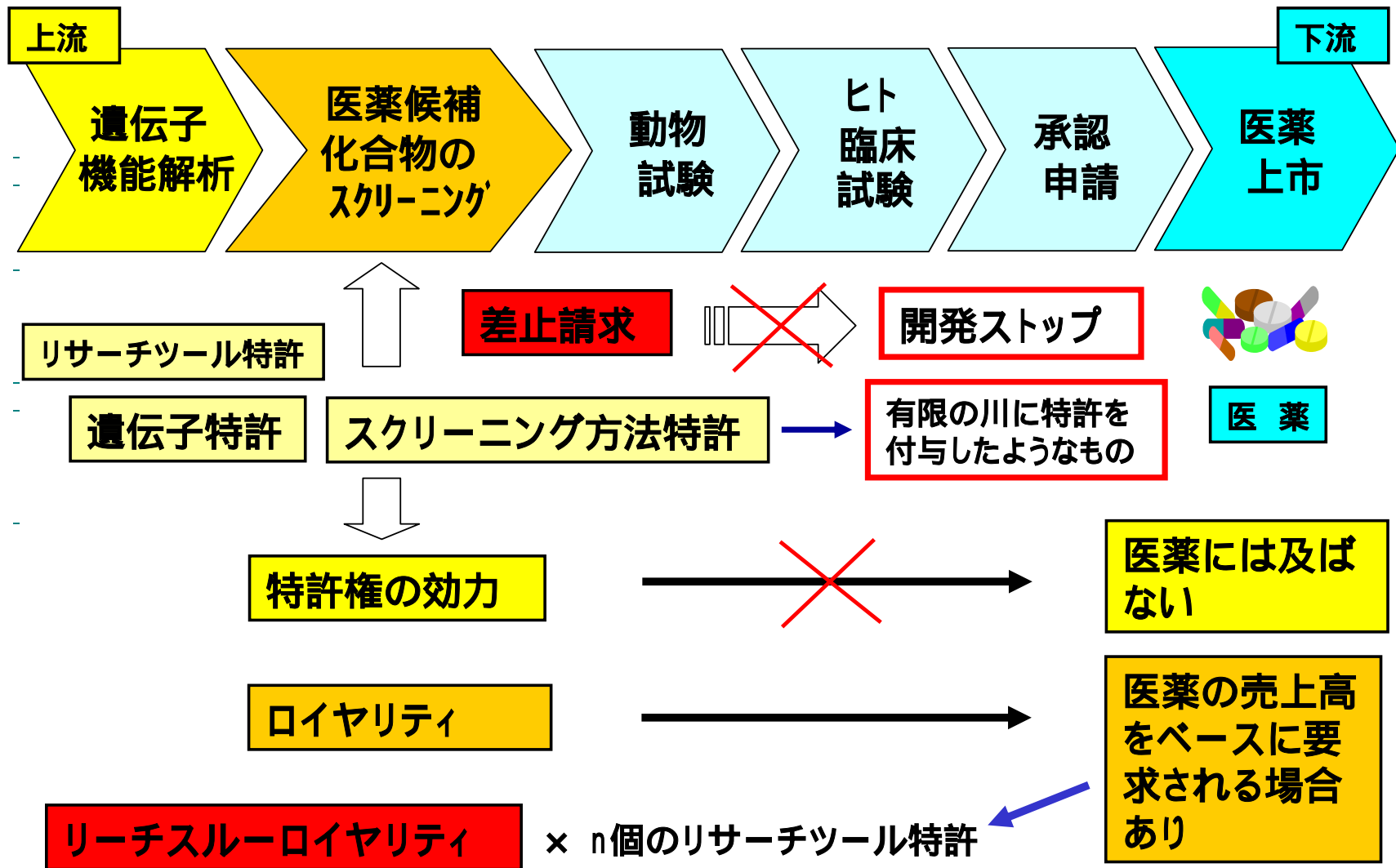
4. 業界におけるツールの代替性

業 界	代 替 性	具 体 例
<p>電気・機器</p> <p>顕微鏡、測定器 または それらを用いる 検査・測定方法</p>	<p>あり</p> <p>購入可能 (消尽し、使用 自由)</p>	
<p>医薬品</p> <p>化合物、 伝統的手法</p>	<p>あり</p>	
<p>ヒト遺伝子</p> <p>疾患に関連する 遺伝子は少数</p> <p>ターゲットは有限</p>	<p>なし</p>	 <p>例えば、ヒト由来のインスリン受容体は1種類のみ</p> <p>↓</p> <p>ヒトにおける心臓のようなもの</p>

5. 遺伝子には代替性がない！



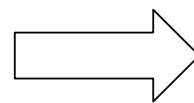
6. ゲノム創薬にリサーチツールは不可欠！ 差止請求とリーチスルーロイヤリティの不合理



7. 産学連携への影響



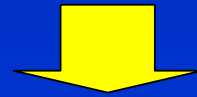
大学と製薬企業との
共同研究の主流は
遺伝子機能解析などの
基礎研究である！



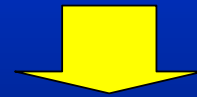
リサーチツール
特許は大学研究
をも阻害する！

ま と め

研究に使用するリサーチツールが代替性がなく、それが特許対象の場合、当該リサーチツールを使用する研究には、当該リサーチツールの特許ライセンスが必要となる。



従って、代替性のないリサーチツール特許の存在は、研究の進展および産業の発展の障害になる。



そこで、リサーチツールの特許権者の利益を考慮した上で、研究の自由度を確保するための解決策を講ずるべきである。